

東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

第45回中央社保学校を開催



社会保障、フランスの事例から」と題して講演され、第2講演として、藤田孝典氏（NP Oほっとプラス代表）が「高齢者の貧困、下流老人を提唱している意味」と題してお話をされました。



二日目は、「社会保障入門と生存権運動」と題してシンポジウムを開催し、井上英夫氏（金沢大学名誉教授）の基調報告を受け、青森生存権裁判の原告や青森県生活と健康を守る会、青森社保協などがパネリストとして青森の生存権のたたかいについて報告し交流を行いました。

午後からは、第3講演として富田宏治氏（関西学院大学教授）が、「改革を超え、情勢を切り拓く共同を」と題して講演を行いました。

最終日は、フィールドワークとして、ハンセン病施設の松丘保養園・三内丸山遺跡の施設見学を行いました。

中央社保協は、9月7日から9日の日程で第45回中央社保学校を青森県で開催し、8団体・26県、274人が参加しました。

井上賢二代表委員・学校長の開会あいさつ、大竹進青森社保協会長の地元あいさつを受け、社保学校が始まりました。

初日の第1学習講演は、都留民子教授（広島県立大学）が「平和と民主主義の土台である



都議会開会日行動



息患者医療費助成制度の継続と拡大を」東京公害患者と家族の会の秋元副会長、「定時制高校の存続を」雪が谷高校定時制高校の存続を求める会の伊藤さん、「東京五輪に便乗した豊洲移転問題・晴海土地投げ売り問題」で臨海都民連の市川事務局長、「核兵器禁止条約の批准問題」で東京原水協の石村事務局長が訴えました。最後に、都知事室に向けてシュプレヒコールを行い、個人請願行動を実施しました。

この行動の前段で、東京社保協として都知事要請を、都老協・障都連・事務局で行いました。



臨時国会冒頭解散の動向が明らかになった9月20日、第3回定例都議会開会日行動が行われ、全都から250人が都庁前に駆け付けました。

開会日行動は、寺川東京社保協事務局長の司会で進められ、森田稔東京地評議長が主催者あいさつを行い、日本共産党都議団から里吉ゆみ都議が都議会をめぐる情勢報告を行いました。引き続き、「ぜん

各地域・団体の取り組み

大田社保協

「なんでも相談会」を開催



大田社保協は9月20日、街頭なんでも相談会を蒲田駅西口で開催しました。

相談会には、「月20万の年金収入があるが、住民税の滞納があるため12万位天引きされてしまうことへの怒り」や「ネットカフェ生活」の相談など、生活・医療・法律など8件の相談が寄せられました。この相談会には、8団体14人が参加して対応しました。

(大田社保協 野口修二事務局長)

東京高齢者のつどい



9月22日、第28回東京高齢者のつどいが杉並公会堂(全体会)と東京土建杉並支部(分科会)で開催され、のべ1100人が参加しました。

午前中の、「高齢者のねがいと要求を実現する地域連絡会づくり」「ひとりぼっちにしない、させない」「若者・現役は高齢者に何を思うか」などの分科会のは会場一杯の300人が参加して学習と交流を行いました。

午後からは、会場を杉並公会堂に移動して全体会が開催されました。つどい実行委員長の吉田一夫さん(練馬高連)の主催者あいさつを受け、来賓として日本高連・小嶋満彦代表委員、東京母親大会連絡会・八巻暁美代表委員、政党から、日本共産党・山添拓参議院議員、東京生活者ネットワーク・西崎光子前都議会議員があいさつを行いました。

つどいの基調報告を菅谷正見東京高連事務局長が行い、東京で開催された第30回日本高齢者大会以降の東京の運動の到達点と課題、今後の取り組みなどについて報告しました。

文化プログラムを経て記念講演が行われ、日野秀

逸氏(東北大学名誉教授)が「安心して暮らせる社会と社会保障の充実を目指して」講演を行いました。最後に、世代間の連帯・地域に根ざした運動に取り組む「つどい及び総選挙に向けたアピール」を採択し、福井典子・東京高連副会長が閉会あいさつを行いました。

豊洲移転中止署名をすすめる会



築地市場の豊洲新市場への移転中止と築地市場の再整備を求める「豊洲移転中止署名をすすめる会」は、都議会第3回定例会開会日の9月20日夕方、都庁・都議会前で抗議行動を実施し、1300人が参加し都庁に向かってアピールの声をあげました。

市民が次々と宣伝カーから発言、「無害化できなければ移転しないと言っていたのに強行するのは許せない」(日本消費者連盟・杉浦さん)、「都民は移転していいと言っていない」(調布市在住・蔵貫さん)。築地の仲卸や飲食業者も駆けつけ、「そんな危険な豊洲市場では仕事ができない」(築地女将さんの会・山岸さん)と業者の本音を語りました。

都議会会派からは、日本共産党都議団と生活者ネットワークが参し、「移転を許さない世論を広げよう」などと挨拶しました。参議院議員の吉良よし子議員も参加し「現場の声を無視して移転強行は許されない」と発言しました。

小池知事は、この日の都議会所信表明で「豊洲市場への早期移転に向けた取り組みを加速する」と表明。しかし、豊洲の地下水から環境基準の120倍ものベンゼンやシアン化合物も検出されるなど、都民の不安は払拭されるどころか、益々広がっています。都が進める追加対策は、多くの有識者から欠陥との指摘がなされており、移転などありえません。移転中止・豊洲再整備の声を広げていきましょう。

(東京地評常幹 阿久津 光)

渋谷社保協



渋谷社保協は8月25日、第26回総会を開催し65人が参加しました。

総会は、福井会長が開会あいさつを行い、東京社保協の相川事務局次長と共産党区議団の苦孝二区議からの連帯のあいさつを受けました。

嘉瀬事務局長が活動総括・方針を提案。毎区議会への請願行動、何でも相談会の定期的開催、学習・宣伝・署名行動など1年間の活動を振り返りました。方針では、地域で医療・介護・社会保障の改悪を許さないために取り組みを強化しながら奮闘すること、当面の課題として9月議会で国保料の引き下げを請願するために、個人署名に取り組むことが提起されました。

討論では、代々木法律の林弁護士から「社会保障の改悪が続いているが、闘って勝ち取ったもの

もある。住宅セーフティネット法が改正され、住宅弱者に対する家賃助成などの支援が強化されている。小さな改善だが、息の長い運動で大きな成果を作り出そう」と発言。都立広尾病院を守る会の金井さんからは、「広尾病院は移転ではなく現地立て替えとなった。しかし、地域医療構想もにらみ、新病院では急性期など78床削減される。地域の医療支援機能は残るが、これから独立法人化が浮上しており阻止していきたい」と報告しました。



その他、年金者組合やフロアからの発言を受け、総括・方針案、予算、役員体制などを全体で承認し、最後に、「安倍内閣打倒、充実した社会保障の実現を目指す」特別決議を採択し総会を終了しました。



総会の第2部の記念講演は、東京社保協の相川事務局次長が、「どうなる介護保険・総合事業」と題して講演しました。

(渋谷社保協ニュース等より)



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）
3000円（送料別）
1部500円（送料別）
 - 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
- *ホームページからも注文できます



9.14巣鴨宣伝行動



9月14日、定例の巣鴨駅前「4の日」宣伝行動を実施し、各団体からの参加者が次々とマイクを握り、約1時間の間途切れなく訴えを行いました。

この行動には、東京社保協から23人（内東京土建18人）、中央社保協から7人の合計30人が参加し、署名ハガキ付きティッシュ2000個配布し署名を34筆集約しました。あわせて「医療・介護なんでも相談」を行い1件の相談が寄せられました。

なお、次回予定していた10月14日の宣伝は中止し、11月14日（火）の12時から巣鴨駅前宣伝を行うこととします。



「4の日」定例宣伝行動

- ・11月14日（火）12時～13時
巣鴨駅前
- ・12月14日（木）12時～13時
巣鴨駅前

主催：東京社保協・中央社保協

暮らしといのちと笑顔を守る
相談活動ハンドブック

2017年版

東京社会保険推進協議会

11月11日は、「いい介護の日」

介護・認知症 なんでも無料電話相談

高齢化がすすむなか、お金の心配なく安心して介護サービスを受けたい、すべての高齢者・家族の願いです。しかし現状は介護職員の人手不足や、「負担が重くサービスを継続できない」「待たせない」など悩みは深刻です。その悩みに答える「介護・認知症なんでも電話相談」を行います。介護の専門家、認知症の人と家族の会の相談員がお答えします。お気軽にお電話ください！

とき **11月11日（土）10時～18時**

でんわ **0120-110458**

中央社保協 中央社会保険推進協議会
TEL.03-5908-5344 FAX.03-5908-5345
●メールでの相談は E-mail:tk25@shahokyo.jp

公益社団法人 認知症の人と家族の会
TEL.075-811-8195 FAX.075-811-8198
●メールでの相談は E-mail:office@alzheim.or.jp

東京社保協 東京社会保険推進協議会
TEL.03-5395-3165 FAX.03-3946-6823
●メールでの相談は E-mail:syaho01@chihiyo.jp

相談活動ハンドブック

相談活動ハンドブックを活用して相談活動を広げよう！

頒価：100円（80円卸し）
10冊を超える注文は送料は東京社保協負担

※別途送付する注文書で申し込みを